

■ 熊本県立熊本聾学校 ■

PLAN

1 平成24年度の新体力テストの結果による取組の計画

(1) 本校の現状と課題

平成24年度の結果と県基準値との比較 (◎; 上回る 空欄; 同じ ▼; 下回る)

		小学部	中学部	高等部
握力	男子	▼	▼	▼
	女子	▼	▼	▼
上体起こし	男子	▼	▼	▼
	女子	▼	▼	▼
長座体前屈	男子		▼	▼
	女子	▼	▼	▼
反復横とび	男子	▼	▼	▼
	女子	▼	▼	▼
持久走 (シャトルラン)	男子	▼	▼	◎
	女子	▼	▼	◎
50m走	男子	▼	◎	▼
	女子	▼	▼	◎
ハンドボール投げ	男子	▼	▼	▼
	女子		▼	▼

ア 一部の種目を除き、全学部とも県基準値を下回っている。また、個人差が大きく、それぞれに応じた授業の展開が必要である。

(2) 取組計画

ア 体育授業での展開の工夫と改善

(ア) 準備運動時の補強運動の実施

(イ) 視聴覚教材等の有効活用

(ウ) 活動時間と運動量の確保

イ 児童生徒会活動による自主的活動の実施と支援

(ア) 昼休みの外遊びの呼びかけ (小学部)

(イ) 体力向上月間の設定 (中、高等部)

ウ 運動部活動の推進

エ 食育指導の充実

DO

2 平成24年度 of 具体的実践

(1) 体育授業での展開の工夫と改善

ア 準備運動時の補強運動等の実施

(ア) ランニング、体操、ストレッチ

(イ) 腕立て伏せ、腹筋、背筋、ダッシュ等

イ 視聴覚教材等の有効活用

DVD、和太鼓、タンバリン、手旗等を使用して、説明や指示等を行った。

ウ 活動時間と運動量の確保

視聴覚教材等を活用することにより、説明等の時間を短縮し、運動している時間及び運動量の確保を図った。

(2) 児童生徒会活動による自主的活動の実施と支援

ア 昼休みの外遊びの呼びかけ（小学部）

昼休みなど、積極的に外遊びを行う様子が見られた。

イ 体力向上月間の設定（中、高等部）

本年度は2学期に設定予定であったが体調を崩している生徒が多かったため、3学期に改めて設定する予定である。

(3) 運動部活動の推進

運動能力や個人の体力に応じてメニューを決めて、活動を行った。またそれぞれの部活動時に基礎的な筋力トレーニング等、体力向上を意識した運動を継続して行った。

(4) 食育指導の充実

「給食だより」や栄養教諭による講話を行った。

CHECK

3 平成24年度 of 取組の評価

(1) 体育授業での展開の工夫と改善

準備運動時に補強運動を継続して行ったことにより、時間の短縮はもちろん生徒もよりスムーズに運動を行うことができるようになった。このことから体力の向上を推測することができる。

視聴覚教材等を使用することで、説明や指示等がより明確になり、内容の理解を深めた。また準備や片付けの時間も短縮されたことで授業時の運動時間が増え、運動量の増加にもつながった。

(2) 児童生徒会活動による自主的活動の実施と支援

ア 大多数が車による送迎のため運動の機会が少ないが、始業前や昼休みなど、積極的に外遊びを行う様子が見られ運動の生活化につながっている。（小学部）

イ 体力向上月間の設定はできなかったが、積極的に体育館で運動を行っている生徒も見られた。（中、高等部）

(3) 運動部活動の推進

昨年度に比べ男女とも部活動の加入率が増えた。また部活動時のトレーニングを継続して行ったことにより大会での記録や結果も上がっていることから、体力も向上していると推測することができる。

(4) 食育指導の充実

「給食だより」や栄養教諭による講話などで食事の重要性についての意識は高まってきた。

ACTION

4 平成25年度の計画

(1) 今年度の取組を継続して実践していくと同時に、より個人差に応じた授業を展開できるような工夫をしていきたい。

(2) 食育指導については養護教諭、栄養教諭、保護者との連携を深めてより充実させていきたい。